

2. 多文化国際交流科 (2025年度)

【月曜日授業予定表】 講師: 大阪国際交流センター、大阪日本語教育センター、アジア協会アジア友の会等

		午 前			午 後						
回	月	日	曜日	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容			
1 学 期	1	7	月	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)						
	2	4	14	月	1	多文化共生社会をめざして (国際交流への誘い)	多文化共生は日本の将来に向けた確かな進路である	楠本 政幸 大阪府日中友好協会	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション		
	3	28	月	2	多文化共生の現状と課題	大阪市の多文化共生への取り組みについて、海外の国の多文化共生の取り組み、海外協力隊の経験	岸 俊之 大阪国際交流センター	高大オリエンテーション、班役割分担説明			
	4	12	月	3	・班各担当・班長決定 各担当別会議(代表者決定他)		熱田 典子 アジア協会アジア友の会	ネパールに嫁いで知った文化	日本在住のネパール人が増える意図をさぐる		
	5	5	19	月	4	コーダイ流の多文化国際交流①	自分に出来る国際交流とは	出水 眞由美 MIRAI PLUS代表	クラス委員長決定、遠足行先検討		
	6	26	月	5		遠足行先決定	松村嘉久 阪南大学教授	★国際観光都市・大阪と大阪・関西万博	大阪・関西万博が大阪の国際化にどのような影響を与えるのか。		
	7	2	月	6	コーダイ流多文化国際交流②	持続可能な開発目標・SDGsを深堀して多文化共生へ	出水 眞由美 MIRAI PLUS代表		自主企画講座検討、懇親会		
	8	9	月	②	★	② 遠 足					
	9/10	6	16	月	7	⑥	日本語の教え方を学ぼう①	外国人留学生に日本語をどのように教えているのか、教えるのか。	磯田郁子 大阪日本語教育センター副センター長	③社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
	11	28	土	8		自主活動	大阪日本語教育センター留学生	★多文化交流会	留学生と日本語でコミュニケーション交流		
	12	30	月	9		日本語の教え方を学ぼう②	異文化理解	磯田郁子 大阪日本語教育センター副センター長	健康まつり説明 参加対応検討、自主企画講座検討		
	13	7	月	10		ドイツの表情	ドイツの地理、政治、エネルギーに対する状況と日本の状況の違いについて	ANJA SLIWA	自主活動		
	14	14	月	11		西洋音楽史	西洋音楽の成立過程と、日本音楽への影響を	小西 功修 トランシールズジャパン株式会社	フェスタ概要説明・クラス発表区分(展示・演芸)検討		
	8					夏 休 み					
2 学 期	15	8	月	12		フランス文化について	フランス文化・習慣と日本文化・習慣の相違点	田中 恵利佳	コーダイフェスタ発表準備、自主企画講座決定		
	16	22	月	13		アジアと共に生きる	アジアと共に生きる意味とアジア協会アジア友の会の活動について	柿島 裕 アジア協会アジア友の会	コーダイフェスタ発表準備		
	17	29	月	14	★	JICA関西協力の活動を学ぶ	海外から見た日本(海外体験談)	JICA海外協力隊	JICA関西 見学		
	18	6	月	15		ともに生きるために	エール学園のこれまでの実践に言及しながら、多文化共生社会実現のために個々ができることは	木村 多恵子 エール学園校長	健康祭り参加準備・コーダイフェスタ発表準備		
	19	7	火	④	④コーダイ健康まつり(堺市金岡公園体育館)						
	20	20	月	16		コーダイフェスタ発表準備	留学生(エール学園)		留学生と日本語でコミュニケーション交流		
	21	27	月	17	★	海外からの人材の育成について	産業人材にかかわる教育方針と課題の解決方法をさぐる	海外産業人材育成協会	施設見学、交流会		
	22	10	月	18		フィンランドの文化について	フィンランドの日常生活に密着した文化の紹介と日本とのかわりについて	トッティ・タッパー トランシールズジャパン株式会社	コーダイフェスタ発表準備、卒業旅行検討		
	23	17	月	19		コーダイ流多文化国際交流③	さあ社会参加活動へ可動開始!	出水 眞由美 MIRAI PLUS代表	コーダイフェスタ発表準備仕上げ、卒業旅行検討		
	24	19	水	⑤	⑤コーダイフェスタ(豊中市立文化芸術センター)						
	25	1	月	20		卒業旅行決定	松村 嘉久 阪南大学教授	★大阪における多文化共生の現場から	多文化共生の理想的なあり方とは		
26	8	月	21		自主企画講座			ワンワールド(社会参加活動の準備)			
					冬 休 み						
3 学 期	27	19	月	22		ウクライナは今	ウクライナの歴史、現状、支援	小野 元裕 日本ウクライナ文化協会	自主活動		
	28	26	月	23	★	イスラム世界	イスラムの礼拝所・マスジドの見学、イスラム教の教えなど	アズズルガフル Cultural Hub 代表	マスジドイステイラル大阪 見学 (イスラム教礼拝見学)		
	29	2	月	24		日本社会の一員となったバングラデシュ人	アジア途上国バングラデシュの農村から先進国日本へ来日30年の体験	マホムッドジャケル	シルバーアドバイザー取得説明、成果発表会準備		
	30	7	土	⑥	★⑥社会への参加活動・・・(1学期から3学期の間に活動日を1回設定) ワールドフェスティバルに出展、ボランティア活動の情報交換						
	31	16	月	25		日本語教室で楽しく国際交流	教えるよりも日本の友だちになろう。ゆるく続けるボランティア活動	札幌 正隆 NPO市岡国際教育協会	成果発表会準備		
	32			26		学習成果発表会					
	33	2	月	⑦	⑦修了式						
34	9	月	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)							
35	10	火	⑨								
				授 業(自主企画、成果発表会含む)		26(講座数列1～26)					
				学 習 事 業 (① ～ ⑨)		9(講座数列①～⑨)		2025/4/1			
				合 計		35					

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。